

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月29日

上場会社名 フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 上場取引所 大証ヘラクレス  
 コード番号 8462 URL <http://www.fvc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川分 陽二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 古尾谷 博次 TEL (075)257-2511  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	125	(79.2)	△1,036	(—)	△1,056	(—)	△163	(—)
21年3月期第2四半期	70	(—)	△1,192	(—)	△1,212	(—)	△363	(—)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年3月期第2四半期	△4,735	06	—	—
21年3月期第2四半期	△11,168	70	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭	
22年3月期第2四半期	13,947		12,116		5.1	20,581 11	
21年3月期	15,270		13,306		5.7	25,352 29	

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 709百万円 21年3月期 874百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	期末	
	円	銭	円	銭	円	銭
21年3月期	—	0	00	—	0	00
22年3月期	—	0	00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

平成22年3月期の配当については、未定とさせていただきます。

3. 平成22年3月期の連結業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

当社は、その事業特性から株式市場の影響を強く受け、また投資損失引当金繰入額・強制評価損等が業績に与える影響が大きいため、業績予想を合理的に行うことは困難であります。したがって、業績予想は行わず、決算後可能な限り迅速な開示をすることといたします。

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社(社名 FVCアドバイザーズ株式会社) 除外 1社(社名 )  
[(注) 詳細は、8 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
- ② ①以外の変更 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- |             |         |        |         |
|-------------|---------|--------|---------|
| 22年3月期第2四半期 | 34,507株 | 21年3月期 | 34,507株 |
|-------------|---------|--------|---------|
- ② 期末自己株式数
- |             |     |        |     |
|-------------|-----|--------|-----|
| 22年3月期第2四半期 | 12株 | 21年3月期 | 12株 |
|-------------|-----|--------|-----|
- ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)
- |             |         |             |         |
|-------------|---------|-------------|---------|
| 22年3月期第2四半期 | 34,495株 | 21年3月期第2四半期 | 32,579株 |
|-------------|---------|-------------|---------|

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項  
該当事項はありません。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、4～6月期の実質GDPが5四半期ぶりにプラス成長に転ずるなど、世界的な金融危機の深刻化による悪化から一部持ち直しの動きが見られる状況にあります。しかしながら企業収益は依然として低い水準にあり、7月には完全失業率が過去最悪の5.7%を記録するなど、厳しい雇用情勢が続く中、個人消費についても一部には政府の景気刺激策によって喚起されてはいるものの、総じて伸び悩み、依然として厳しい環境が続いております。

当社の属するベンチャーキャピタル業界を取り巻く環境をみますと、株式市場では8千円台前半で幕を開けた日経平均株価が1万円を超える水準まで回復するなど、景気の底入れ期待を示す展開となったものの、新規上場市場では、当第2四半期連結累計期間中の新規上場企業数が8社（前年同期11社）に止まるなど、前連結会計年度に引き続き、低迷しております。

このような環境の中、当社では「投資先企業価値の向上」と「経営の安定化」を最重点課題とし、事業を推進しております。

「投資先企業価値の向上」を実現すべく、投資先企業の状況に応じた関与方針を定めるとともに、当社経営資源を集中的に投入する投資育成体制を構築しました。特に当社が運営する投資事業組合の収益、ひいては当社の収益に大きく寄与する投資先企業については、重点投資先として、当社役員等が直接深く入り込んで経営支援を行う体制を整えました。

また「経営の安定化」を実現すべく、東京支店に投資先企業の株式売却手段の多様化を推進する役割を付加し、目的を達成するための人員体制を整えたほか、投資業務以外の収益軸を補強すべく、経営コンサルティング業務、企業再生に係るコンサルティング業務、M&Aアドバイザリー業務等を行う新会社を設立し、営業を開始いたしました。

以上、重点課題への対策を順次進めておりますが、収益への寄与を具現化することは、今後の継続的な課題であります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は125百万円（前年同期70百万円）となりました。また経常損失は1,056百万円（前年同期1,212百万円）となり、四半期純損失は163百万円（前年同期363百万円）となりました。

<営業投資有価証券売上高>

当第2四半期連結累計期間における営業投資有価証券売上高は、株式の売却等により、93百万円（前第2四半期連結累計期間40百万円）と、前年同期に比べ53百万円の増収となりました。

（営業投資関連損益の状況）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）
営業投資有価証券売上高	40,420	93,470
営業投資有価証券売却額（上場）	—	15,855
営業投資有価証券売却額（未上場）	30,443	71,860
営業投資有価証券利息・配当金	9,976	5,754
営業投資有価証券売上原価	598,062	1,314,044
営業投資有価証券売却原価（上場）	—	3,900
営業投資有価証券売却原価（未上場）	206,203	871,205
減損等	391,858	438,939
投資損失引当金繰入額（△戻入額）	292,352	△436,852
営業投資関連損失（△）	△849,994	△783,721

<コンサルティング業務>

当第2四半期連結累計期間におけるコンサルティング業務による売上高は、28百万円（前第2四半期連結累計期間25百万円）となりました。これは主に、他社が運営するファンドに対する投資顧問契約に基づく投資助言業務などによって構成されております。

（営業収益の内訳）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）		当第2四半期連結累計期間 （自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）	
	金額	比率(%)	金額	比率(%)
営業投資有価証券売上高	40,420	57.6	93,470	74.3
コンサルティング業務	25,740	36.7	28,815	22.9
その他	4,015	5.7	3,469	2.8
合計	70,176	100.0	125,755	100.0

<投資事業組合の状況>

当第2四半期連結会計期間末の当社が管理・運営する投資事業組合は28組合、32,047百万円（前連結会計年度末28組合、32,057百万円）となりました。

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
投資事業組合出資金総額 (百万円)	32,047	32,057
投資事業組合数 (組合)	28	28

- (注) 1. 子ファンドは含めておりません。  
 2. 「投資事業組合出資金総額」は、コミットメント総額であります。  
 3. 以下2組合は、期間満了により解散いたしました。当第2四半期連結会計期間末においては清算期間中であるため、投資事業組合出資金総額及び投資事業組合数に含めております。  
 ・フューチャー三号投資事業有限責任組合（期間満了日：平成20年8月29日）  
 ・関西を元気にする投資事業有限責任組合（期間満了日：平成21年7月14日）

①新規に設立した投資事業組合

当第2四半期連結累計期間において新規に設立した投資事業組合はありません。

②出資金総額が増加した投資事業組合

当第2四半期連結累計期間において出資金総額が増加した投資事業組合はありません。

③出資金総額が減少した投資事業組合

当第2四半期連結累計期間において出資金総額が減少した投資事業組合は、以下の1組合であります。

(単位：百万円)

投資事業組合名	減少した出資金額	内容
チャレンジ山形産業振興投資事業有限責任組合	10	地域型ファンド
合計 (1組合)	10	

④清算終了した投資事業組合

当第2四半期連結累計期間において清算終了した投資事業組合はありません。

<投資の状況>

当第2四半期連結累計期間における当社の投資実行の状況は、16社、520百万円（前第2四半期連結累計期間16社、523百万円）となりました。また、当第2四半期連結会計期間末における投資残高は204社、15,783百万円（前連結会計年度末209社、16,591百万円）となりました。

①証券種類別投資実行額

証券種類	投資実行額			
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	
	金額(千円)	投資企業数(社)	金額(千円)	投資企業数(社)
株式	460,910	14	403,950	14
社債等	62,169	2	117,000	6
合計	523,079	16	520,950	16

(注) 投資企業数の合計値は、株式、社債等双方に投資している重複社数を調整しております。

②証券種類別投資残高

証券種類	投資残高			
	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)		前連結会計年度末 (平成21年3月31日)	
	金額(千円)	投資企業数(社)	金額(千円)	投資企業数(社)
株式	15,179,176	200	16,072,679	205
社債等	604,214	26	518,714	22
合計	15,783,390	204	16,591,393	209

(注) 投資企業数の合計値は、株式、社債等双方に投資している重複社数を調整しております。

<投資先企業の上場状況>

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

当第2四半期連結累計期間において、上場した投資先企業はありません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

<資産、負債及び純資産の状況>

総資産額については、当第2四半期連結会計期間末は、13,947百万円（前連結会計年度末15,270百万円）となりました。その内訳は流動資産13,819百万円（前連結会計年度末15,114百万円）、固定資産128百万円（前連結会計年度末156百万円）です。

負債額については、借入金の返済116百万円を行ったこと等により、当第2四半期連結会計期間末は、1,830百万円（前連結会計年度末1,964百万円）となりました。

また、純資産額については、四半期純損失163百万円の計上及び少数株主持分が1,026百万円減少したこと等に伴い、当第2四半期連結会計期間末は、12,116百万円（前連結会計年度末13,306百万円）となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の5.7%から5.1%となりました。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「キャッシュ」という。）は、前連結会計年度末より926百万円減少し、3,846百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、735百万円のキャッシュアウトフロー（前第2四半期連結累計期間969百万円のキャッシュアウトフロー）となりました。主な内訳は次のとおりであります。（注：△はキャッシュアウトフロー）

・投資実行に係る支出	△520百万円
・売上等による収入	116百万円
・営業投資有価証券（社債）の償還収入	13百万円
・人件費・経費の支出	△338百万円
・その他の収支	△6百万円

また、この他に連結損益計算書上、内部取引として相殺消去される投資事業組合管理収入が287百万円あります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、16百万円のキャッシュインフロー（前第2四半期連結累計期間1,103百万円のキャッシュアウトフロー）となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、207百万円のキャッシュアウトフロー（前第2四半期連結累計期間461百万円のキャッシュインフロー）となりました。これは主に、借入金の返済116百万円、少数株主に対する分配金の支払100百万円によるものであります。

<投資損失引当金>

当社は、投資先企業の経営成績及び財務状況を個別に精査し、さらに投資実行の主体である各投資事業組合の解散時期を勘案した上で、それぞれの営業投資有価証券を四半期ごとに評価し、投資損失引当金を計上しております。なお、昨年の急激な外部環境の変化が、投資先企業に及ぼす影響も極力タイムリーに反映した評価を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、投資損失引当金戻入額は436百万円（前第2四半期連結累計期間繰入額292百万円）、当第2四半期連結会計期間末における投資損失引当金残高は5,842百万円（前連結会計年度末6,279百万円）となりました。なお、投資損失引当金の戻入額と繰入額は相殺し、純額表示しております。

また、当第2四半期連結会計期間末における営業投資有価証券に対する投資損失引当金の割合は、37.0%（前連結会計年度末37.8%）となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社は、業績予想は行いません。詳細は、1 ページ「3. 平成22年3月期の連結業績予想」のとおりであります。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

平成21年7月17日に当社100%子会社であるFVCアドバイザーズ株式会社を設立し、当第2四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

なお、連結範囲変更後の連結子会社数は、投資事業組合28組合を含め29社であります。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

#### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等

##### ①その旨及びその内容

当社は、前事業年度まで通算して3期連続の当期純損失を計上し、当第2四半期におきましても163百万円の四半期純損失を計上いたしました。

しかしながら、当社が計上いたしました損失の主な要因は、当社が管理・運営する投資事業組合(以下、「ファンド」という。)において発生している営業投資有価証券売却損失及び投資損失引当金繰入等であり、これらの損失及び費用は、中長期的には自己資本の毀損を通じて経営に悪影響を及ぼす可能性があるものの、ファンドにおいて発生しているため、当社の短期的な財務安定性には影響いたしません。従いまして、継続企業の前提に関する重要な不確実性は存在しないものと考えております。

##### ②当該重要事象等についての分析・検討内容並びに当該重要事象等を解消し、又は改善するための対応策

当社は、当期純利益を早期に黒字化し、当該事象を解消すべく、以下の3つの戦略をもって対処してまいります。

- a 他社との提携による収益軸の多様化と資本増強による財務体質の強化
- b 投資先企業の育成を戦略的に行うことによる投資先企業の企業価値向上の徹底
- c 未上場段階における営業投資有価証券の売却促進



5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,846,299	4,773,257
営業投資有価証券	15,783,390	16,591,393
投資損失引当金	△5,842,901	△6,279,754
その他	32,259	29,212
貸倒引当金	△23	△78
流動資産合計	13,819,024	15,114,029
固定資産		
有形固定資産	17,852	21,615
無形固定資産	28,374	34,750
投資その他の資産	82,273	99,998
固定資産合計	128,500	156,364
資産合計	13,947,524	15,270,393
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	95,290	96,220
1年内償還予定の社債	15,000	—
預り金	425,039	424,759
賞与引当金	13,254	18,993
その他	52,686	70,947
流動負債合計	601,270	660,920
固定負債		
長期借入金	1,181,750	1,247,250
退職給付引当金	28,546	29,552
その他	19,148	26,323
固定負債合計	1,229,444	1,303,126
負債合計	1,830,715	1,964,046
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,911,936	1,911,936
資本剰余金	626,386	626,386
利益剰余金	△1,824,702	△1,661,873
自己株式	△2,172	△2,172
株主資本合計	711,447	874,276
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,501	251
評価・換算差額等合計	△1,501	251
新株予約権	1,122	—
少数株主持分	11,405,741	12,431,820
純資産合計	12,116,809	13,306,347
負債純資産合計	13,947,524	15,270,393

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高		
営業投資有価証券売上高	40,420	93,470
コンサルティング収入	25,740	28,815
その他の売上高	4,015	3,469
売上高合計	70,176	125,755
売上原価		
営業投資有価証券売上原価	598,062	1,314,044
投資損失引当金繰入額 (△戻入額)	292,352	△436,852
その他の原価	218,161	162,200
売上原価合計	1,108,576	1,039,392
売上総損失 (△)	△1,038,399	△913,636
販売費及び一般管理費	153,795	123,033
営業損失 (△)	△1,192,195	△1,036,670
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,289	1,732
講演料収入	1,322	971
受取システムライセンス料	—	3,000
その他	651	510
営業外収益合計	7,263	6,214
営業外費用		
支払利息	24,023	22,643
その他	3,679	2,996
営業外費用合計	27,703	25,640
経常損失 (△)	△1,212,635	△1,056,096
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	55
特別利益合計	—	55
特別損失		
事務所移転費用	8,785	4,470
本社改装費用	8,781	—
特別損失合計	17,566	4,470
税金等調整前四半期純損失 (△)	△1,230,202	△1,060,510
法人税、住民税及び事業税	11,427	7,681
法人税等調整額	4	△12
法人税等合計	11,432	7,669
少数株主損失 (△)	△877,758	△904,844
四半期純損失 (△)	△363,876	△163,335

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,230,202	△1,060,510
減価償却費	9,006	8,794
株式報酬費用	—	1,122
投資損失引当金の増減額(△は減少)	292,352	△436,852
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,135	△5,738
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,046	△1,006
受取利息及び受取配当金	△10,572	△7,487
資金原価及び支払利息	24,571	22,782
有形固定資産除却損	4,502	2,553
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	110,928	808,002
未収入金の増減額(△は増加)	8,030	△6,867
未払金の増減額(△は減少)	△2,887	△2,458
未払費用の増減額(△は減少)	△6,332	△2,611
預り金の増減額(△は減少)	△100,790	280
その他	△13,746	△28,054
小計	△933,322	△708,051
利息及び配当金の受取額	10,715	8,465
利息の支払額	△34,650	△24,192
法人税等の支払額	△12,166	△11,746
営業活動によるキャッシュ・フロー	△969,424	△735,524
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△6,604	△1,209
敷金及び保証金の差入による支出	△13,711	△3,213
敷金及び保証金の回収による収入	51,430	17,133
定期預金の預入による支出	△1,150,000	—
定期預金の払戻による収入	15,000	—
その他	250	3,775
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,103,635	16,486
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△145,000	△50,000
長期借入金の返済による支出	△77,980	△66,430
株式の発行による収入	49,450	—
社債の発行による収入	—	15,000
少数株主からの払込みによる収入	645,000	—
少数株主に対する分配金による支出	—	△100,041
その他	△9,605	△6,447
財務活動によるキャッシュ・フロー	461,864	△207,919
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,611,195	△926,958
現金及び現金同等物の期首残高	5,903,871	4,773,257
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,292,675	3,846,299

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

【四半期財務諸表】

- ①四半期財務諸表は法定開示におけるレビューの対象ではありません。
- ②「四半期財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に従い、従来の個別財務諸表に、子会社であるFVCアドバイザーズ株式会社を連結して、四半期財務諸表を作成しております。

(1) 【四半期貸借対照表】

	(単位：千円)	
	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	476,349	632,784
営業投資有価証券	2,504,548	2,700,423
投資損失引当金	△ 898,232	△ 977,681
その他	49,049	54,082
貸倒引当金	△ 55	△ 139
流動資産合計	2,131,658	2,409,469
固定資産		
有形固定資産	17,852	21,615
無形固定資産	28,374	34,750
投資その他の資産	82,273	99,998
固定資産合計	128,500	156,364
資産合計	2,260,159	2,565,833
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	95,290	96,220
1年内償還予定の社債	15,000	—
リース債務	14,239	14,018
未払法人税等	8,437	15,339
前受金	149,772	162,736
預り金	10,005	10,138
賞与引当金	13,254	18,993
その他	16,337	23,372
流動負債合計	322,337	390,818
固定負債		
長期借入金	1,181,750	1,247,250
リース債務	19,148	26,323
退職給付引当金	28,546	29,552
固定負債合計	1,229,444	1,303,126
負債合計	1,551,782	1,693,944

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,911,936	1,911,936
資本剰余金		
資本準備金	626,386	626,386
資本剰余金合計	626,386	626,386
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△ 1,827,394	△ 1,664,514
利益剰余金合計	△ 1,827,394	△ 1,664,514
自己株式	△ 2,172	△ 2,172
株主資本合計	708,755	871,635
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△ 1,500	253
評価・換算差額等合計	△ 1,500	253
新株予約権	1,122	—
純資産合計	708,377	871,889
負債純資産合計	2,260,159	2,565,833

(2) 【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高		
投資事業組合管理収入	315,894	287,259
営業投資有価証券売上高	10,616	17,254
コンサルティング収入	25,740	28,815
その他の売上高	4,499	4,002
売上高合計	356,751	337,331
売上原価		
営業投資有価証券売上原価	104,564	219,039
投資損失引当金繰入額 (△戻入額)	69,482	△ 79,578
その他の売上原価	268,991	209,618
売上原価合計	443,038	349,078
売上総損失 (△)	△ 86,286	△ 11,746
販売費及び一般管理費	150,699	120,242
営業損失 (△)	△ 236,986	△ 131,988
営業外収益	2,559	4,678
営業外費用	27,703	25,640
経常損失 (△)	△ 262,129	△ 152,950
特別利益	42	83
特別損失	17,566	4,470
税引前四半期純損失 (△)	△ 279,654	△ 157,336
法人税、住民税及び事業税	7,057	5,543
四半期純損失 (△)	△ 286,712	△ 162,880

6. その他の情報

<出資金に係る会計処理>

当社の出資金に係る会計処理は、当社と決算日が異なる子会社については、決算日における子会社の(中間)決算もしくは仮決算による財務諸表に基づいて、子会社の資産、負債、収益及び費用を当社の出資持分割合に応じて計上しております。

当社の四半期貸借対照表及び四半期損益計算書で計上されております主な科目の内訳は次のとおりであります。

(1) 四半期貸借対照表

四半期貸借対照表における主な資産を当社単体及びFVCアドバイザーズ(株)で保有している資産と、投資事業組合で保有している資産に分解いたしますと次の通りであります。

	貸借対照表上の科目	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)
		金額(千円)
当社単体及び FVCアドバイザーズ (株)で保有している資産	現金及び預金	114,545
	営業投資有価証券	173,800
	投資損失引当金	△ 6,420
投資事業組合で 保有している資産	現金及び預金	361,804
	営業投資有価証券	2,330,748
	投資損失引当金	△ 891,811

(2) 四半期損益計算書

四半期損益計算書における営業損益を当社単体及びFVCアドバイザーズ(株)で発生している損益と、投資事業組合で発生している損益に分解いたしますと次の通りであります。

	損益計算書上の科目	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間
		(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
		金額(千円)	金額(千円)
当社単体及び FVCアドバイザーズ (株)で発生している損益	投資事業組合管理収入	315,894	287,259
	営業投資有価証券売上高	4,030	259
	コンサルティング収入	25,740	28,815
	その他の売上高	3,993	3,319
	売上高合計	349,659	319,653
	営業投資有価証券売上原価	1,500	—
	投資損失引当金繰入額	—	6,420
	その他の売上原価	218,161	162,200
	売上原価合計	219,661	168,621
	売上総利益	129,997	151,032
	販売費及び一般管理費	150,699	120,243
	営業利益又は営業損失(△)	△ 20,701	30,789
投資事業組合で 発生している損益	営業投資有価証券売上高	6,585	16,994
	その他の売上高	506	683
	売上高合計	7,091	17,677
	営業投資有価証券売上原価	103,064	219,039
	投資損失引当金繰入額(△戻入額)	69,482	△ 85,999
	その他の売上原価	50,829	47,418
	売上原価合計	223,376	180,457
	売上総損失(△)	△ 216,284	△ 162,779
営業損失(△)	△ 216,284	△ 162,779	

(注) FVCアドバイザーズ(株)は平成21年7月17日に設立されたため、当第2四半期累計期間の金額には含まれておりますが、前第2四半期累計期間の金額には含まれておりません。